

令和6年度津山洋学資料館後期企画展



津山藩最後の藩医

芳村杏齋



会期：令和6年11月23日(土)～令和7年2月16日(日)
開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日
会場：津山洋学資料館 企画展示室

〒708-0833 岡山県津山市西新町5番地
☎ 0868-23-3324 📠 0868-23-9864

津山洋学資料館
TSUYAMA ARCHIVES OF WESTERN LEARNING

津山藩最後の藩医

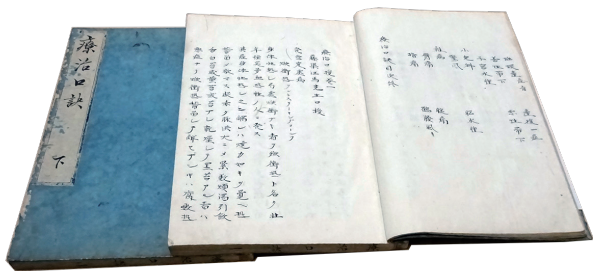
芳村杏齋

芳村杏齋は現在の真庭市蒜山上福田で代々医家をつとめる家に天保7年(1836)に生まれました。江馬天江、江馬活堂や華岡南洋などに医学を学び、さらに長崎へ出向きオランダ人医師ポンペから最新の西洋医学を習得しました。明治2年(1869)には大阪でオランダ人医師ボードインのもと、さらなる研鑽を積み、同年津山藩医の久原洪哉らの推薦により津山藩最後の藩医の一人として取り立てられることになります。

一時、現在の大阪大学病院に医師としてつとめますが、その後津山へ戻り田町で開業しました。そこでの彼の評判はよく、患者から慕われていたようで、病院の門前行列ができるほどであったと言われています。また、診察を望む人々は「先生に一度診察してもらえれば、死んでも恨むことはない」と話していたという逸話が残されています。

杏齋は明治38年(1905)に70歳でこの世を去りますが、生前の深い親交から蔵書類などが津山教育科学博物館(つやま自然のふしぎ館)へ寄贈され大切に守られてきました。これらの資料は平成22年の新館開館を契機に、津山洋学資料館へ移管されています。

今回没後120年を記念し、これらの資料などを中心に、芳村杏齋の生涯について紹介します。



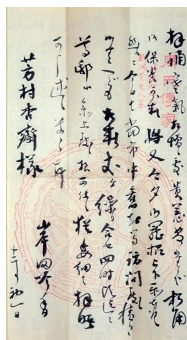
療治口訣 江馬活堂口授 【館蔵】



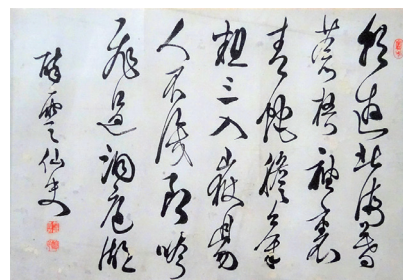
抱氏眼療手術講義 抱道英(ボードイン)口述 【館蔵】



改政一乱記
【津山郷土博物館蔵】



芳村杏齋宛て
岸田吟香書簡 【館蔵】



芳村杏齋書 【館蔵】

- 開館時間/9:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日) 祝日の翌日
(会期中の休館日: 11/25・26, 12/2・9・16・23・29~翌1/3・6・14・15・20・27
2/3・10・12)
- 入館料/一般300円, 65歳以上・高校・大学生200円
(常設展示と共通・30名以上の団体は2割引)



津山洋学資料館
TSUYAMA ARCHIVES OF WESTERN LEARNING

〒708-0833 岡山県津山市西新町5番地
TEL:0868-23-3324 FAX:0868-23-9864
URL: http://www.tsuyama-yougaku.jp
e-mail: yougaku@city.tsuyama.lg.jp



交通のご案内

- ・JR津山駅から東循環ごんごバス南廻り線で12分、西新町下車徒歩2分
- ・中国自動車道 津山ICから車で15分・院庄ICから車で20分
- ・資料館前に駐車場10台